

○議長（茅沼隆文）

続いて、日程第10 報告第3号 平成30年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画についてを議題といたします。

報告書の説明を公社理事長に求めます。

理事長。

○副町長（小澤 均）

報告第3号 平成30年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画について。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成30年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画を別添のとおり提出する。

平成30年3月6日提出、開成町長、府川裕一。

平成30年2月21日に開催しました、開成町土地開発公社、理事会におきまして決定をしました、平成30年度事業計画及び予算書を添付してございます。

1ページをご覧ください。

平成30年度開成町土地開発公社事業計画は、次に定めるところによる。

平成30年2月21日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

平成30年度の事業計画としましては、現時点で具体的な土地の取得の予定はありませんが、窓口予算としてその他事業、1,000円をそれぞれ計上してございます。

土地売却計画では、公有地先行取得事業により、平成28年7月に取得しました、庁舎周辺環境整備用地、2,366平方メートルを2億7,332万円で町に売却する予定としております。

2ページをご覧ください。

平成30年度開成町土地開発公社予算及び資金計画。

総則。第1条、平成30年度開成町土地開発公社予算及び資金計画は、次に定めるところによる。

収入支出予算。第2条、収入支出予算の総額は、収入支出それぞれ3,014万円と定める。

第2項、収入支出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表収入支出予算」による。

借入金。第3条、借入金の目的、限度額、借入先、借入方法、借入利率及び償還方法については、「第2表借入金」による。

資金計画。第4条、資金計画は、「第3表資金計画」による。

平成30年、2月21日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

3ページをご覧ください。

第1表、収入支出予算の部でございます。収入としましては、事業収入として、庁舎周辺環境整備用地の売却収入1,708万2,000円。借入金として、窓口予算1,000円。繰越金として平成29年度からの繰越金、1,305万5,0

000円。事業外収入として、利息収入1,000円、雑収入1,000円をそれぞれ計上してございます。収入合計は、3,014万円でございます。

支出としましては、事業費、土地取得費、1,000円。管理費、一般管理費、3,000円。借入金償還金として、庁舎周辺環境整備用地の取得にかかる金融機関からの借入金を元金償還分1,626万3,000円。事業外支出として、庁舎周辺環境整備用地の取得にかかる、金融機関からの借入金の支払利息、37万8,000円。予備費、1,349万5,000円を計上してございます。

支出合計は、3,014万円でございます。

4ページをご覧ください。

第2表、借入金でございます。目的、公有地等取得管理資金、限度額5億円。借入先、借入方法、借入利率、償還方法は記載のとおりでございます。

5ページをご覧ください。

第3表、資金計画でございます。左側の受入資金、右側の支払資金の合計はともに3,014万円となっております。内容の説明は3ページでの収入支出予算で、御説明をしたものと重複をしますので、割愛をさせていただきます。

6ページをご覧ください。

平成30年度収入支出予算説明書でございます。収入支出ともに前年度予算から1,661万8,000円の増額としております。こちらの内容も、3ページの収入支出予算で御説明したものと重複をしますので、割愛をさせていただきます。

7ページをご覧ください。

平成29年度収入支出決算見込計算書でございます。表の上の記載をご覧ください。

平成30年3月末の決算見込みは、収入見込額、1,356万2,426円、支出見込額、50万7,321円、差し引きは、1,305万5,105円となる見込みです。

表の中の、当年度決算額の欄をご覧ください。

収入内訳としましては、平成28年度からの繰越金、預金利息収入、庁舎周辺環境整備用地をあじさまつり実行委員会が使用した際の使用料収入となっております。

支出内訳としましては、役場周辺環境整備用地のフェンスの修理代、管理費、借入金、償還金に係る、支払利息となっております。

8ページから13ページまでについては、決算諸表でございます。8ページから10ページまでが平成29年度末、11ページから13ページまでが平成30年度末となっております。

はじめに、平成29年度の決算見込みです。まず、9ページの2、予定損益計算書をご覧ください。

1番下の数値、当期純損失をご覧ください。8万4,779円が、平成29年度における、純損失となる見込みとなっております。

前のページ、8ページの予定貸借対照表をご覧ください。

資産の部は、公社保有しています預金及び平成28年度に取得しました、役場周辺環境整備用地を計上してございます。負債の部は、役場周辺環境整備用地の取得にかかる金融機関からの借入金を計上しております。資本の部は、基本財産、前年度からの繰越金準備金、先程9ページで御説明をした、当期純損失をそれぞれ、計上してございます。

次に、平成29年度における資金の流れを、10ページの3予定キャッシュ・フロー計算書で御説明いたします。

(1) 事業活動によるキャッシュ・フローでございます。

役場、周辺環境整備用地のフェンスの修理に係る支出、利息の受取額、借入金償還にかかる、利息の支払額、庁舎周辺環境整備用地をあじさいまつり実行委員会が使用した際の使用料収入をそれぞれ計上し、事業活動によるキャッシュ・フローは、マイナスの46万2,068円となる見込みでございます。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フローでございます。

投資活動によるキャッシュ・フローは、発生しない見込みとなっております。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フローでございます。

財務活動によるキャッシュ・フローは、発生しない見込みであります。

この結果、(4)現金及び現金同等物増加額は、マイナスの46万2,068円となり、これに(5)現金及び現金同等物期首残高を足しまして、(6)期末残高は、505万5,105円となる見込みです。

11ページから13ページまでは、平成30年度の決算見込みとなっております。

平成30年度においては、役場周辺環境整備用地の町への売却による収入等を見込んでおります。

なお、役場周辺環境整備用地の町への売却にあたっては、平成31年1月から平成38年7月まで、16回の分割払いの予定をしており、1回あたり1,708万2,500円の収入を予定しております。

その他の計上内容につきましては、平成29年度と同様となっておりますので、説明は省略をさせていただきます。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質疑がないようですので、以上で報告第3号 平成30年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画についての報告を終了いたします。